

## 12 December 行事予定表

公民館主催事業

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6 そばうち教室 (高城公民館で開催) 9:10社公民館出発 9:10~13:00 事務閉室	7	8 集団健診 (和田東町かがやき 文化センター) 受付8:00~10:00	9 薬膳教室 (めぐりで開催) 9:30社公民館出発 9:30~13:00 事務閉室	10
11	12 2人ヨーガ教室 (高城公民館-各自 集合開催) 9:10~12:00 事務閉室	13	14	15	16 公民館研究大会 のため 12:00~事務閉室	17 GOGOやしる塾 リース・門松作り 社小学校9:00~
18	19	20	21 館長会19:30~ (横田自治公民館)	22	23 天皇誕生日	24
25 子ども安全パトロール にこにこあいさつ運動 のぼり旗設置	26	27	28	29	30	31
年末・年始休み H28.12.29~H29.1.3まで事務室閉室						

平成28年11月24日現在

社公民館は現在、修復工事中のため使用できません

### 修復工事中の公民館

完成予定は来年1月の予定

- 8ページ増刊
- P2.3 鳥取中部地震緊急アンケート  
社地区の被害状況と避難対応
- P4.5 ふみちゃんの突撃レポート  
(黒見編)
- P6 倉吉市民体育大会結果
- P7 社句会、社川柳会  
ペンリレー

**編集メモ**  
今回の震災で、被災した公民館。被災してからの最初はヘルメット着用での仕事でした。今も、足場の組んである公民館の中での仕事ですが、館長はじめ4人頑張っています。早い公民館の復旧を！



**高城・社公民館共催  
2人ヨーガ教室開催**  
二人ヨーガとは、二人一組になって相手の身体を足で踏んでほぐしていくものです。硬くなっている筋肉をほぐし、血液やリンパの流れがよくになると、身体にたまった老廃物を排出して代謝が促されます。毎日楽しんで老後に介護をうけるようなことなげすむごせるよう是非ご参加下さい。  
▽日時 12月12日(月)  
9時30分~11時30分  
▽場所 高城公民館  
▽講師 西山美千子さん  
▽参加費 無料  
▽参加募集人数 10人  
▽申込締切 12月6日(火)  
☆持ってくるもの タオル

公民館主催事業にご参加下さい  
TEL.0858-28-2155

### やしる公民館報 407号

平成28年11月30日発行  
編集発行/社公民館・館報専門委員会  
鳥取県倉吉市国分寺74-1  
TEL. 0858(28)2155 FAX. 0858(28)6031



**そばうち教室開催  
(高城公民館にて)**  
今年もそばうち教室を開催します。  
▽日時 12月6日(火)  
9時30分~  
▽場所 高城公民館  
▽参加費 500円  
▽参加募集人数 10人  
▽参加締切 12月2日(金)  
\*当日は、市役所のマイクログラスで行きます。9時10分には出発します。



# 地震被害緊急アンケート

10月21日午後に発生した鳥取県中部地震は社地区の民家の瓦屋根などに大きな被害をもたらした。このたび館報専門委員会が18自治公民館長あてに地震の被害状況と地震発生時の避難状況について緊急アンケートを実施した。(アンケート回収16自治公民館)

## 大谷地区に大きな被害

寺谷、和田、国府、国分寺、秋喜、福光、横田なども

アンケート調査によると震度6弱の地震の揺れによる被害は、社地区一帯の瓦屋根などに広がっている。特に大谷

で、そのほか道路に多数クラックがはしり、堤、法面にはクラックやズリ、住宅のブロック塀も道路側に倒壊するなどの被害が起きている。こうしたことから、大谷地区の揺れが震度以上に大きかったことが想像される。

## 瓦屋根の被害が広範囲に広がる

瓦屋根の被害状況は、大谷が全戸、和田が住宅の75% (約58戸)、国分寺が60% (約34戸) のほか寺谷17戸、国府60戸、秋喜40戸、横田40戸、秋喜西町14戸、大谷茶屋32戸など、住宅の半数程度に及ぶ地区が多数にのぼった。今回の調査で数字が記入された13の地区の合計は約490戸となった。その他の被害では道路や公園の亀裂が13地区、ブロック塀の倒壊などが7地区、そのほか河川の護岸の崩落(国府)、用水路側壁のひび割れ(秋喜新町)、水道管漏水(大谷茶屋)など。不入岡では石仏が転倒した。また、調査にはなかったが、墓石が至るところで転倒したり倒壊している。

## 大谷、横田は翌日まで断水

断水も多くの地区で発生した。そのうちのほとんどは当日夜までに復旧したが大谷、

横田の2地区では翌日まで続いた。停電は12の地区で発生したが、多くは数分から2〜3時間で復旧した。

## 地震による被害状況

	公民館	加入世帯	屋根被害	断水	停電
上神	92	32	全世帯	全世帯	全世帯
寺谷	28	17	2時間程度	2時間程度	なし
大谷	69	全戸	全戸	翌日夕方	当日夕方
大谷茶屋	80	32	午後9時まで	午後9時まで	数分程度
和田	78	75%	一時断水	一時断水	なし
和田東	40	6	なし	なし	なし
不入岡	116	-	なし	なし	短かった
国府	112	60	一時は全戸	一時は全戸	一時は全戸
大沢	19	-	-	-	-
国分寺	57	60%	60%	当日夕方	2〜3時間
秋喜	78	40	40%	3時間	約1時間
福光	86	-	-	半日程度	3時間ぐらい
横田	100	40	40%	21、22日	早く復旧
黒見	28	-	-	-	-
西福守町	397	65	65%	夕方まで	30分ぐらい
馬場町	195	24	24%	19時頃まで	16時まで
秋喜西町	27	14	14%	あり	あり
秋喜新町	126	-	-	6〜7時間	なし

屋根被害は調査に数字または%が記入された数を集計すると13公民館で約490世帯にのぼっている。(注)加入世帯数は今年春に行った調査の数字を参照

向山から四王寺山方面を見た写真。馬場町から和田、不入岡地内の屋根にブルーシートが広がっている



## 地震後の自治公民館の対応

災害が発生した時に問われるのが『共助』の活動だといわれる。今回の地震災害で、自治会の共助の機能がどう働いたのかをアンケート調査した。地震発生が午後2時ということもあり、館長や役員が自宅にいなかった地区も多い。このため、地震後、自主防災会の役員で設置した馬場町や秋喜のように緊急対策本部を設置出来たところは少ない。しかし、それにかわる緊急な役員会等で対応を話し合ったところは、大谷、大谷茶屋、馬

場町、上神、和田、和田東町、国府、西福守町、秋喜新町など多くあった。上神などは消防組織も加わった。安否確認では「館長、副館長で各班毎にまわり聞き取り」(大谷)、「防犯員、パトロールが班を確認」(馬場町)、「防災組織の各班の調査情報部が確認」(秋喜)、「三役、組長等で確認」(国府)など、地震後から夕方に掛けて確認に回った地区が多かった。また、「館長が一軒ずつ歩いて確認」(秋喜西町)「館長が各

家を回って確認」(福光)など、防災組織を持たない地区でも館長の自主的な行動がみられた。公民館等に一次避難所を設けた地区は大谷茶屋など11地区。当日避難した人は馬場町27人、秋喜30人、西福守町12人など。福光では高台に住む14軒の住民が避難した。車中泊する人も多く見られた。そのほか、独居老人宅などへの個別対応も多く見られ、「高齢者世帯、身障者世帯を2週間に渡り健康状態と余震に伴う被害確認をした」(秋喜西町)地区もあった。



大きな被害が出た福光焼の登り窯

## 登り窯などに被害

陶芸の社やしろの窯元に大きな被害が出ている。レンガを組み合わせてつくる「登り窯」が崩れたり、その他の窯でも煙突が壊れるなど被害が出ている。陳列された陶芸品の大半が壊れており、地震後、窯元では割れた陶芸品の整理や修繕に追われた。

## 会合・サークル活動の維持に貸館のお願い 社公民館

今回の地震により社公民館が被災し、皆様には大変ご不便をおかけしております。11月7日から復旧工事が開始され、11日、ロビーには足場が組まれました。いよいよ天井の壁はがしの作業が始まりました。地域の皆様の拠点としての公民館がご利用いただけない状態が長期になりそうです。

各自治公民館で被災していない公民館を代替として地域の方に貸館として提供していただけないかお願い致しました。各自治公で、役員会等開催していただき返事をお待ちしているところです。貸館の提供ができましたら、団体代表の方に連絡を取りできるだけ活動が滞らないよう調整をしたいと考えています。社地区内の自治公民館

を利用する方法と社公民館以外の他の地区公民館(例:北谷公民館、高城公民館等)を利用させていただく方法もありますので、どうぞご検討下さい。皆様の活動が滞ることなく、今までのように継続して「集い」、「学び」、「繋がり」のある社地区を取り戻せるよう全力を挙げて調整したいと思っております。社公民館長 門脇 志伸



## 五輪さんが散乱 早い復元が望まれる

国分寺歴史公園に集めて供養されている五輪塔の多くが転倒し散乱している。450基ともいわれている五輪塔が写真のように散乱し

ており、復元しようにも区別がつかない状態。自治公民館協議会、社地区振興協議会(牧尚志会長)で対応を検討している。





# ふみちゃん がゆくー！ 社突撃レポート

★第5弾★  
黒見編

取材日 / 平成28年10月6日  
館長 / 山下泰徳さんに取材



山下館長



突撃レポート第5弾は黒見です。大変失礼な話ですが、黒見という地名を10年前Uターンして来るまで、もっと正直に言えば社に集落支援員として着任するまで、まったく地名として認識しておりませんでした(本当にごめんない)。黒見焼・木工など工芸品が自慢の町という単純な認識で取材に臨みましたが、それに負けずとも劣らない財産・資源があった！とすごい気づきをいただきました。さあ、果たしてそれは何でしょう！想像しながら読んでみてくださいね。

## 町のはじまり

明治4年の廢藩置縣の直前に戸籍法が発令される前、江戸時代は規模の小さい自然発生的に発達した自然集落でした。政府は徴兵制を実施するために、全国の人口・戸数を明らかにする必要に迫られ、旧来の町村の区域を単位として「区」と称する特別な広域

区画を設けたのですが、そのとき久米郡は第16区とされ、その小2区の中に「黒見」の名があります。

明治21年政府により市制および町村制が制定され、その新制度に伴って大規模な町村合併が行われ、鳥取に市制、その他に町村制が施行されたとあります。その時社村が誕生し、合併前の名称に「黒見村」



(上)国府川沿いの田園の中に佇む集落  
(下)綺麗に区画された水田が並ぶ

## ★まちのはじまり

- ・明治22年 明治21年の市制・町村制の制定後の県令施行により社村黒見となる。
- ・昭和28年10月9つの町村が合併して倉吉市が誕生。

それ以前の5月には、木を切りだし製材して住民の手で作りの黒見自治公民館が建築された。



集落支援員  
ふみちゃん

## ★まちの特徴・自慢

- ・自治公加入27戸、総人口90名(28年10月末現在)
- 自治公加入27戸(農家22戸・非農家5戸)で農事組合を組織し、計画的な稲作に取り組んでいる。(自治公民館は同組合の産業部)
- ・黒見焼(矢田彰儀氏)、鳥取民芸木工(福田豊氏)は伝統工芸

として有名。  
福田豊氏の「木工芸」は、今年8月鳥取県無形文化財に指定された。  
毎月1日に全戸から1名以上が出席する「定例会」を開催しており、住民が何でも話し合える会になっている。

## 町の特徴・自慢

戸数27戸・人口は90名。55歳以上の人口が53%を超える、社地区に8か所ある準限界集落の1つです。集落全体で農事組合を組織し、計画的な稲作に取り組んでいます。自治公民館はその農事組合の中の産業部に属し、昭和28年に、自分たちの手で木を切りだし、製材して建築した自治公民館の建物は、サッシの入れ替えなど部分的な改修を行いながら、今も現役で活躍しています。汲み取り式のトイレや、エアコンがないなど不便なところもありますが、みんなの思いのこもった公民館の建物です。

中に入ると、壁にはたくさん賞状や記念写真。そして他で見たことがない！と思わず写真に収めたのは水田の地図でした。

何のために掲示されているのか聞くと、こしひかりやきぬ



壁には多くの賞状や写真

農事組合で管理している水田の地図

今回お話を伺って一番驚いたのは、全戸が集まる定例会を毎月1日に開催されていることでした。現在3班で組織されている自治会。その昔、口座振替がなく国民年金を手集金していたことや、館報市報を配るにも広い水田地域の中を点在する家を回るの相当



木工芸の福田豊さん

な努力を要します。なら、人の方を集めてしまおう！ということから始まった定例会は20年以上続いており、今や「住民が何でも話し合える会」として、集落全体の連携を図るいい機会になっていくそうです。月に1回役員会をするところはあっても、全戸が集まる会を行っている町はそうそうないと思います。小さな集落ならでは、素晴らしい宝だと思いますか？



黒見焼・矢田彰儀さん

## 町のこれから

準限界集落。10年後には65歳以上が半数を超え、集落機能維持が難しくなる可能性が高いと、一般的には言われます。そのことについて、何か不安なことはないですか？とお

## 【取材後記】

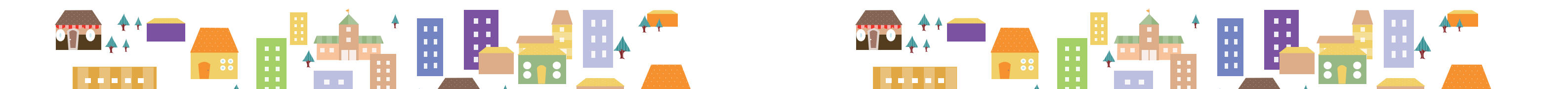
高齢化は止められるものではないですね。移住定住の取り組みも大切ですが、そこに住む人が元気で毎日を楽しむことが一番なのです。住民がイキイキしていなければ、行ってみたい・住みたい・帰りたいまちとしての魅力なん

て出せる訳がありません。若い者がいなくても、「元氣な年寄り」が溢れるまち」になった方がいいのです。住んでいる人が、そのまちの繋がりと、まともに自信を持っていて、地域の希薄化が叫ばれる昨今、これからもその自信が黒見の大きな財産となっていくと思えます。

その繋がりをもってすれば、米のブランド化だって出来るそうです。今、5珍ほどある耕作放棄地で試験的に自然栽培をしてみるとかどうでしょう。黒見米として全国発信：ワクワクしませんか？

これまで続いてきたんですね。その先祖のパワーがあれば、被災した後の私たちがきっと大丈夫です。

黒見に取材に伺ったのは地震の2週間前でしたが、「特に不安はない」山下館長の笑顔の言葉がとても心に響きました。これからもきっと大丈夫。取材にご協力いただき、本当にありがとうございました





# 社の仲間と いきいき たのしむ みんなの広場

## 地震を想定した避難訓練に多数の町民が参加 秋喜新町



120名の町民が参加した秋喜新町の避難訓練

秋喜新町公民館では、11月13日(日)住民参加による防災避難訓練(地震編)を実施いたしました。例年80名前後の参加者ですが、今年は中部地震の後とあって120名を超える参加申し込みがあり、炊き出し訓練の担当者は少し大変だったと思います。

事前に市役所防災課へ指導者の派遣をお願いしていたのですが、地震対応の為出かけられないとの連絡がありました。事前にその様な想定もしており、町内の地震被害状況と総務省の地震対応マニュアル映像にて、視聴訓練も行いました。

災害はいつ発生するか分かりませんが、繰り返しの訓練を通じて、自らの身の安全を守る事と助け合う事の大切さを学んだ一日でした。(椿洋二郎館長)

## 平成28年度 倉吉市民体育大会 卓球団体(一般、小学生女子)などで優勝

- 第56回倉吉マラソン大会
  - ◇5kmの部
  - ◆8部(40~59女)①池田京子(社)
  - ◆10部(60歳以上男)①田中和人(社)②川口 誠(社)
- 第47回バレーボール競技
  - ◇男子①②社(社選抜)
- 第39回バドミントン競技
  - ◇地区対抗の部③社
  - 第25回クラウンド・ゴルフ競
- 技⑤長尾俊一(社)⑥塚根正幸(社)⑦藤田寛(社)
- 第44回卓球競技
  - ◇団体の部
  - ◆一般①社公民館
  - ◆小学生女子①社公民館
  - ◇個人の部
  - ◆小学生女子シングルス①柴山夢奈(社)②岸本栞(社)③小谷夏希(社)
  - ◇ダブルス
  - ◆親子(父親)①岸本泰明・
- 岸本栞(社)②小谷英明・小谷夏希(社)
- 第13回ラージボール卓球競技
  - ☆団体戦③社公民館A
  - ◇2部
  - ◆男子シングルス②松本孝幸(社)
  - ◆女子シングルス③中川須賀子(社)津村悦子(社)
  - ◆混合ダブルス①山本・中林(社)
- 第15回ソフトバレーボール競技
  - ◇交流の部(2)③大谷茶屋

## 被災した公民館の花壇に ビオラを植える



11月2日(水)朝9時から、ボランティアさん16名の皆さんと公民館の花壇にビオラを植えました。

今回の地震で、10月25日の予定を変更しての実施でしたが、皆さんのおかげで、綺麗に、華やかにになりました。夏のポーチュラカから、黄色やポルドー・青色等のビオラが、この地震でのいろいろな不安の生活を和ませてくれていきます。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

## 社地区集団健診のお知らせ

日にち	12月8日(木) / 1月26日(木)
場所	和田東町自治公民館
受付時間	午前8時~10時
がん検診	胃・肺・大腸・前立腺・肝炎ウイルス
婦人科検診	子宮・乳
特定健診等	特定・長寿・一般
物忘れタッチパネル相談	○
その他	※胃・子宮・乳がん検診は定員があります。 ※持ち物：各種健診受診券・保険証・自己負担金

※問合せ先 倉吉市保健センター 電話：26-5670

## 社句会 225

秋時雨地震に痛みし町暗め  
陽の差して山茶花の紅濃くなりし  
大地震の自然の脅威秋深む  
暮れの秋墓石倒しぬ大地震  
眠る子は背なに重きや落葉搔  
連なりしブルーシートや冬の町  
冷まじき地震や狛犬逆落  
歌に集ひ笑顔一変秋の地震  
ガサと踏む楓落葉の染める道  
枯芝の宿す温もり腰おろす  
(12月の歳時記……永見 松明選)

道曲りはたと冬日に包まれて  
空港の青き冬日に人あゆむ  
☆地震による被害を蒙った句友のみなさん心よりお見舞い申し上げます。

☆次回は12月5日(月)午後2時より西福守町第二集会所で句会を開催します。

社公民館が地震被害のため年内は使用できません。師走の句に、地震の句を加えて参加して下さい。風化させないように記録として句集に残しましょう。

## 社川柳会 365

「迷った」

近頃は迎えるお客選り好み  
迷うことなこの人と決めました  
迷子猫地震のうちは家出して  
どっちにしようかな呟いているばかり  
人生は迷い迷いを道づれに  
分岐点左右どちらか迷う道  
エンピツを転がし決めた迷いごと  
ケータイは病院通い迎えだけ  
地下鉄の出口間違えたら迷子  
他人から見れば些細な迷い事  
前向きに生き迷わずに二人ずれ  
迷っている元に戻すか余震くる  
迷子札付けておきたい旦那にも  
川柳にあれかこれかと迷ってる

吉田やす子  
村本普喜子  
秋藤 洋子  
伊藤一七子  
大下 智子  
小椋 恭子  
永見 松明  
西尾 良子  
早田 圭吾  
牧田賢寿恵  
千原 叡子  
西東 三鬼

瑛子  
智子  
みえこ  
理子  
哲夫  
登美子  
雄大  
シゲヨ  
正  
すみれ  
賀寿恵  
けいこ  
春優  
佳代子

☆次の課題は「耳」です。  
12月15日(木)までに公民館へお届け下さい。



## 「夢の続き」

桑田鈴士(黒見)

ペンリレー  
NO.306



10年前、社  
チャップに關わ  
っていて、大  
谷茶屋の天智  
が卒業する時  
に一緒に籍を降りた。  
今年の1月に天智から声が  
掛かった。ウチ等の代でボー

ル蹴るんで一緒にやりません  
か。天智と一緒にプレーする  
のは8年ぶりである。当時は  
技術の差で圧倒したが、今で  
は技術、体力ともに彼の方が  
上で、幻滅されない程度にプ  
レーするのがやっと。一心、皆  
を唸らせるパスは幾つかあっ

た。指導者を越えるのが最大  
の恩返し、それは彼が子ども  
の頃から伝えていた。天智だ  
けでなく、和哉とか亮平とか  
「立派になったな」というの  
は沢山いた。彼等と一緒に過  
ごした時間は10年経っても宝  
物である。彼等が何時か指導



者の道を歩むかどうかは判ら  
ないけれど、もし、何かの拍子  
で「れーちゃんはこの大事な事言  
ってたな」みたいにして  
くれるならば……あの時の夢は  
終わらない。